

部局名

農学部 森林緑地環境科学科

担当: 光田 靖



テーマ

森林とミツバチと日向夏の関係



我々は自然生態系から様々な恩恵（生態系サービスと呼びます）を受けて生活しています。

宮崎の名産である日向夏は余所から花粉を持ってこないと思いがちですが、この運び手を担っているのが昆虫たちです。これを生態系サービスの一つとして送粉サービスと呼びます。ミツバチが巣を作る広葉樹林が周りに多いほど、日向夏農園にやってくるミツバチが多いという傾向が見えてきました。森林生態系と日向夏生産の良い関係を探ります。

のうがく図鑑: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-green/post-13.html>



詳細内容はQRコードから確認できます



日向夏の花にやってくる昆虫たち

綾町では4月下旬から5月上旬頃、日向夏が白い花を咲かせます。そこへ蜜を求めてミツバチなどの様々な昆虫がやってきます（写真は残念ながらミツバチではありません）。



日向夏農園と農地と森林、綾の里山

日向夏の花には多くのミツバチが訪れますが、農地の畦に咲く雑草の花も利用しているようです。



地上から上空から調べる

日向夏の花にやってくるミツバチを数えています。航空写真を判読して周りにどのくらい広葉樹林（矢印右側の灰色部分）があるのかを調べます。